

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	産業建設常任委員会		会議場所 全員協議会室 担当職員 佐藤
日 時	令和2年7月27日(月曜日)		開 議 午前 10 時 26 分 閉 議 午前 10 時 52 分
出席委員	◎菱田、○赤坂、田中、小川、奥野、藤本、竹田		
出席理事者	【産業観光部】 [商工観光課]三宅課長		
出席事務局	山内事務局長、佐藤主任		
傍聴者	市民 0 名	報道関係者 0 名	議員 0 名

会 議 の 概 要

10 : 26

1 開議 (菱田委員長あいさつ)

2 案件

[商工観光課入室]

桂川舟運歴史体験・展示施設、千代川乗船場について (商工観光課行政報告)

[商工観光課長 資料に基づき順次説明]

10 : 31

[質疑]

<小川委員>

8月3日に京都府と協議をされるということだが、それまでに、自治会との話し合いの場をもってほしいと考えるがどうか。

<商工観光課長>

ご指摘のとおり、もう少し地元との調整を密にできればよかったが、そこまでに至る現状として、京都府といろいろあり、地元と協議するには、まだしっかりと足元が整理できていなかった。そのあたりを、京都府への要望を踏まえて、一定整理した上で、地元をお願いに行こうと考えている。施設を管理する上で、レジャーやアクティビティに利用するに当たり、地元の協力は大変重要であると思っているので、今後しっかりと整理して、説明にあがらせていただく。

<小川委員>

要望の中身が見えなかったのが不安であった。思っていた内容で要望を出してもらっていて安心した。それまでに、地域のいろいろな思いもある中で、引き続き地域

と連携してやってもらいたい。10項目の要望を出してもらっているが、協議はうまく進むのか。

<商工観光課長>

今日、視察にマイクロバスで来ていただいたが、当初はバスも入らない間口になっていた。それを要望して、入るように整備していただいた。京都府としても、財政的に厳しいところもあり、市がどこまで経費をかけていくのかという協議も必要になる。

<田中委員>

この要望書はいつ出したのか。

<商工観光課長>

具体的な日には今持ち合わせていないが、6月中に出した。

<田中委員>

要望書の8番目で「御理解・御協力」という表現があいまいなので、単刀直入に「お金を出せ」というほうがよいのではないか。5番目も「こういう設備を設けてくれ」とはっきりしたほうがよい。遠慮する必要はないと思う。

<商工観光課長>

遠慮はしていないが、口頭でも一定説明をしている。8番目についても、荷物をおくところがないので、大きめの倉庫を置いてほしいとはっきり要望している。

<藤本委員>

10番目で「短期で採算を取ることは困難であると思われるので、長期的な財政支援について御検討いただきますようお願いいたします。」とあるが、例えば、スタジアムとタイアップするならば、あそこでは大型バスが入らないと思う。またJRで来たときに、誘導看板などをつけなければわからないと思うがどうか。

<商工観光課長>

確かに、あの間口では大型バスは入らないので、地元と協議して、川上に私有地の駐車場があるので、お借りしたいと考えている。また、誘導看板の設置も考えている。京都府から今年度と来年度に、想定では300万円ずつ、管理費と航路開拓費で補助金をもらうように考えている。管理をしていくには、最低でも700万円はかかると積算をしていて、それ以降も軌道に乗るまでは、京都府には財政的な支援を求めたいと考える。

<奥野委員>

今後もしっかりと京都府に要望していただきたい。具体的なターゲット層と、将来的にどのように使っていくと考えているのか。

<商工観光課長>

亀岡市では、亀岡まるごとスタジアム構想により、スタジアムを核とした、観光拠点づくりを行っている。七谷川野外活動センターや森のステーションかめおかななどを総合的に活用した観光レジャー整備を考えており、その1つを担うのがこの川の駅になってくると思う。今はコロナの関係で大人数の集客はできないので、ファミリーや小さいグループ向けの活用を考えているので、他施設と連携しながらやっていきたい。また、川を使ったアクティビティだけでなく、バイクや自転車のツーリング拠点やBBQやビアガーデンなどを行い、市外の人だけでなく、市民にも広く利用してもらえる整備をしていきたい。

<赤坂副委員長>

今のままでは、採算がとれないので大変な施設だと思う。ベースが何もできていない。水回りや電気関係などの設備を整える必要がある。これは国土交通省の補助金

で整備したのか。

<商工観光課長>

京都府が地方創生交付金を活用して建設したものである。

<赤坂副委員長>

しっかり京都府に支援してもらわなければならない。具体的な事業計画をいくつかつくって、示していく必要があると思う。このままいけば、赤字になる。竹や雑草などで川が見えない。要望をしっかりと、地元とも協力して新しいビジョンを提示していったらどうか。

<商工観光課長>

できるだけ京都府に協力を求めていき、赤字にならないように採算がとれるように、多くの人に楽しんでもらえる施設としての運営を心がけていく。地元や事業者から今後いろいろな意見をいただきながら、調整していこうと考えている。

<赤坂副委員長>

せっかく今新しいきれいな施設ができていますので、できるだけ早く動いていってもらえるように要望しておく。

<奥野委員>

今後、要望書の10項目について進めていくと思うが、順次中間報告をいただきたい。

<藤本委員>

この施設は市直営で管理していくのか。

<商工観光課長>

今年と来年は、市が業務を事業者に委託する形を想定している。その先は、指定管理を設置していく。令和3年の春から準備にかかり、事業者に試験的な活用をしてもらい、何がよいか判断していく。

<小川委員>

新しいアイデアが出るかもしれないので、地元の人にも施設を見てもらっておいてほしい。要望としておく。

<菱田委員長>

先ほど現場で、京都府の井口参事が、「地元の方にかわいがってもらえるような施設にしたい」と言っておられたので、そのようなよい方向で今後運営をお願いします。

[産業観光部退室]

10:51

3 その他

<菱田委員長>

今日は残念ながら、川を下っての視察はできなかったが、今後また機会があれば相談させていただく。

散会 ~10:52